

日本ビオトープ協会 2021

ビオトープ No. 48

特集「震災復興10年、環境再生の取り組み」



クマゲラ

(北海道苫小牧市北海道大学研究林)

写真 内海 千樫 氏 提供



特定非営利活動法人

日本ビオトープ協会

目次

	頁
巻頭言	
環境と共生するいわての復旧・復興の取組	石田 知子 1
特別寄稿	
震災復興10年 自然再生の取り組み 岩手県の事例	島田 直明 2
シリーズ連載	
今さら聞けないエス・ディー・ジーズ(SDGs)・・・ その3「国も動き始めた生物多様性」	野澤 日出夫 6
シリーズ連載	
ビオトープのいきものたち -その32- 池や沼に生息するトンボたち	神垣 健司 8
会員・BA等投稿	
キアゲハ その2	内海 千樫 10
北海道・東北地区委員会活動報告 「東北復興に想いを寄せて・二人展 -3.11を忘れない-」 12
協会活動状況	
各地区委員会(8地区)活動 計画・報告等	各地区委員長 14
連載コラム	
里川のゆくえ その3 野川(東京)、湧水が支える里川	立川 周二 16

◇表紙・裏表紙写真の説明◇

・表紙「クマゲラ」

日本最大のキツツキで、北海道では常緑針葉樹林・落葉広葉樹林・混交林などの様々な森林、東北地方では主にブナ林に生息します。天然記念物、絶滅危惧Ⅱ類(VU)

・裏表紙「オオバナノエンレイソウ」

冬に北大の校章にも使用されています。本州北部北海道に分布し、発芽から開花まで10～15年を要します。2020年新たに絶滅危惧種に指定されました。

撮影：内海千樫氏

北海道 幌加内ビオトープ研究会代表、日本ビオトープ協会会員、幌加内町在住

